

がっ ど い り ん ぽ か ん
9月 土居隣保館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2 自閉症の子ども ものアート展 13日まで	3	4	5 ｽｰｱﾌﾞﾍﾞｯｸ 10:00～	6	7
8	9 クラフト バンド教室 10:00～	10	11	12 ｽｰｱﾌﾞﾍﾞｯｸ 10:00～	13 じんげんだんかい 人権座談会 18:30～	14
15	16 敬老の日	17 隣保館見学 土居小学校	18	19 ｽｰｱﾌﾞﾍﾞｯｸ 10:00～	20	21 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00～
22 敬老の日	23 振替休日	24	25	26 ｽｰｱﾌﾞﾍﾞｯｸ 10:00～	27	28
29	30					

なや
悩んでいることはありませんか？

りんぽかん
隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場

がっこう
や学校に行けない」など何でも相談してください。また、ハローワークの巡回相談(職業相談)

おこな
を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。

じへいしょう こ てん
自閉症の子どもアート展

「ぼくの世界」～ぼくにできること、あなたにできること～
自閉症の小学生が描いた作品を展示します。



にちじ れいわ ねん がっ にち れいわ ねん がっ にち
日時：令和6年9月2日～令和6年9月13日

ばしょ ど い り ん ぽ か ん かいぎしつ
場所：土居隣保館 会議室

じへいしょう ただ りかい じへいしょう ひと し きかい くだ
自閉症のことを正しく理解し、自閉症の人がいることを知る機会にしてください。

ど い り ん ぽ か ん だ よ
土居隣保館便り

れいわ ねん
令和6年

9 がっこう
月号

はっこう ど い り ん ぽ か ん ど い ち ょ う ふ じ わ ら
発行：土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

ど い ち い き か く し ょ う が く ね ん せ い り ん ぽ か ん き と が く し ょ う
土居地域各小学3年生隣保館聞き取り学習

ねんせいらんぽかん き と がくしゅう そうごうてき がくしゅう じかん りよう じっし
3年生隣保館聞き取り学習は、総合的な学習の時間を利用して実施しています。こ

がくしゅう とお りんぽかん
の学習を通して、隣保館とはどういうところか、どのような目的で隣保館があるかを

し りんぽかん みちか かん もくてき
知ってもらい、隣保館を身近に感じてもらうことが目的です。



ことし げんき ねんせいらんぽかん き
今年も元気いっぱいの3年生が隣保館に来てくれました。最初に隣保館の部屋を見学

つぎ ねんせいらんぽかん しつもん さいご かんちょう せい
します。次に3年生からの隣保館への質問コーナーがあります。最後に、館長が性の

たようせい はなし
多様性についての話をしました。



The Best Paper City

感謝、そして未来へ

「男の子だから青い服を着る」「女の子だから花柄の服を着る」ではなく、自分の好きな服を着る。自分の好きを大切にする。自分の好きを大切にするということは、自分を大切にする。そして相手の好きも大切にする。相手の好きを大切にするということは相手を大切にする。という内容の話でした。



最初は「男なのにスカート履くのはおかしい」「ピンク色の服だから女の子」といった声もありましたが、みんなで話し合いながら学習を進めていきました。そして服装や髪型ではなく、相手を丸ごと受けとめること、自分らしさを大切にすることを学びました。

3年生の感想をいくつか紹介します

今日は、ありがとうございました。色々なことがわかったので、家に帰ってお母さん・お父さんに隣保館のことを話します。

色々な部屋を見せてくださり、ありがとうございました。また隣保館に家族と一緒に来ます。

どんな服を着ても自分は自分のままだから、自分の好きを大事にして生きる。だけど友達の好きも大事にします。

今日は、私たちのために時間を作ってくださいありがとうございました。これからは「自分らしく生きる。自分を大切に、友達の好きを大切にする」を生かして生活します。

隣保館のことがよくわかりました。隣保館では、人のことや自分のことを大切にすることがわかりました。これからは自分や友達を大切にしたいです。

一人ひとりの性にはさまざまな側面があります。戸籍上の性別と異なった性を自認して生きる人もいれば、同性を好きになる人、恋愛感情を持たない人もいます。また、ジェンダーにとらわれない服装などを選ぶ人もいます。身体の性と心の性が一致するのが「当たり前」ではなく、異性を好きになることが「普通」ということでもありません。性自認が身体の性と一致する人もしない人も、異性愛者も同性愛者も、ジェンダーにとらわれない振るまいをする人も、いずれも多様な性のあり方の一つです。自分も含めた誰もが持つ多様な性のあり方を尊重することは、人それぞれの生き方を尊重し、自分らしく生きることを認め合うことです。

土居中学校では性の多様性を認め合い、誰もが安心して自分らしく生活できる学校にするため、校則の改正が行われました。男女に関わらず自分でズボンとスカートのどちらを選んでも良い、今まで男女で色分けされていた上履き、髪型に関しても男女の区別がなくなっています。土居中学校では自分らしく生きるため、自分たちの人権を守るために生徒が主体となって行動しています。それは幼稚園・保育園・こども園から小学校、中学校と継続して人権・同和教育を学び続けている成果だと思っています。何度も何度も繰り返し正しいことを学び続ける「教育の力」が未来を変える行動につながっています。

主事 高橋 建太郎



The Best Paper City

感謝、そして未来へ